

結婚記念日はいつ？ 「結婚式をした日」から「入籍した日」に変化。

～ 東名阪エリア1200人が対象「夫婦関係調査」より抜粋～

株式会社リクルートが運営するブライダル総研より、『夫婦関係調査2011』（首都圏、東海、関西在住の20代から60代の既婚者及び離婚経験のある独身者、計1200人を対象）から見てきた夫婦関係の状況や特徴に関する分析をお伝えします。

結婚記念日、覚えていますか。それはお二人の結婚のどんな日ですか。入籍をした日？それとも結婚式をした日？アンケートから結婚記念日に、年齢による認識の違いが見えてきました。

① 結婚記念日は「結婚式をした日」から「入籍をした日」へと変化してきている。

「夫婦関係調査2011」で、「結婚記念日をどの日としているか」を聞いたところ、「結婚式をした日」としている人が63.8%で最も多く、「入籍した日」としている人は23.3%、「結婚式をした日と入籍した日の両方」の人は11.2%でした。過半数の人が「結婚式をした日」が結婚記念日であると答えています。

しかし、年齢別に結果を見てみると、若い世代ほど「入籍をした日」を「結婚記念日」としているようです。50代・60代では結婚記念日を「入籍をした日」としている人はわずか7%程度で、圧倒的に「結婚式をした日」としてにも関わらず、30代で「入籍をした日」と答えた人は40.5%、20代では過半数の54.3%が「入籍をした日」を「結婚記念日」としており、年齢別に変化があることがわかりました。

かつては結婚式の日もしくは結婚式後に入籍をする日が多かったものの、近年は結婚式よりも前に入籍をするカップルが増えており、その影響も出ていと言えそうです。

② 結婚記念日を祝うかは結婚生活の長さより世代間でのギャップ。

それでは、結婚記念日は特別な日として過ごされているのでしょうか。「結婚記念日を祝うか」を聞いたところ、「よくしている」は40.0%、「たまにしている」は29.5%、まったくしていないは30.5%でした。

年齢別にみえてみると、若い世代ほど結婚記念日のお祝いを「よくしている」ようです。また、結婚をした時期別で見ると、2000年以降の結婚した人がそれ以前よりも多く、10年以内とそれ以後では「結婚記念日を祝うか」に大きな差があるのがわかります。しかし、年齢別と比べると1960年代から90年代まで緩やかな増加で、「結婚記念日を祝うか」は結婚何年目というよりも、年齢別のほうが影響があると言えます。

年齢によるギャップが見えてきた、結婚記念日。あなたは結婚記念日をいつお祝いしていますか？

◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、「リクルート ブライダル総研調べ」と明記いただけますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

「ブライダル総研」は、株式会社リクルートのブライダルカンパニーに設置されている調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

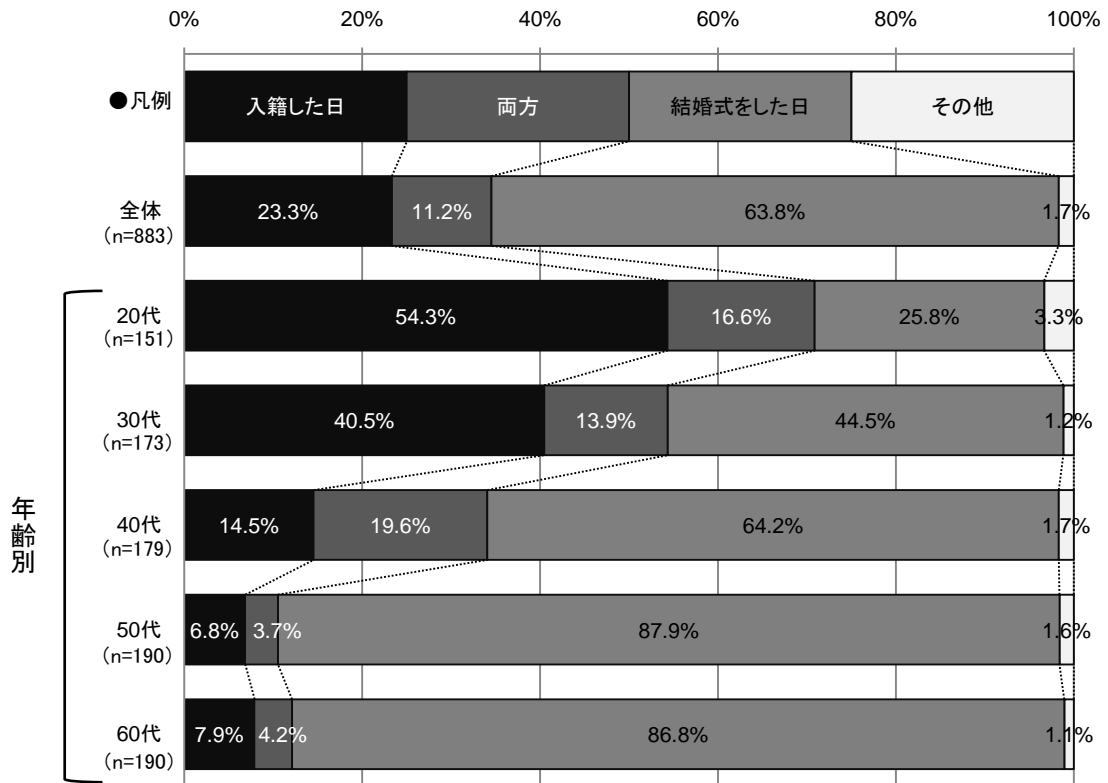
「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

<http://bridal-souken.net/>

■調査名:「夫婦関係調査2011」より抜粋

【参考データ】

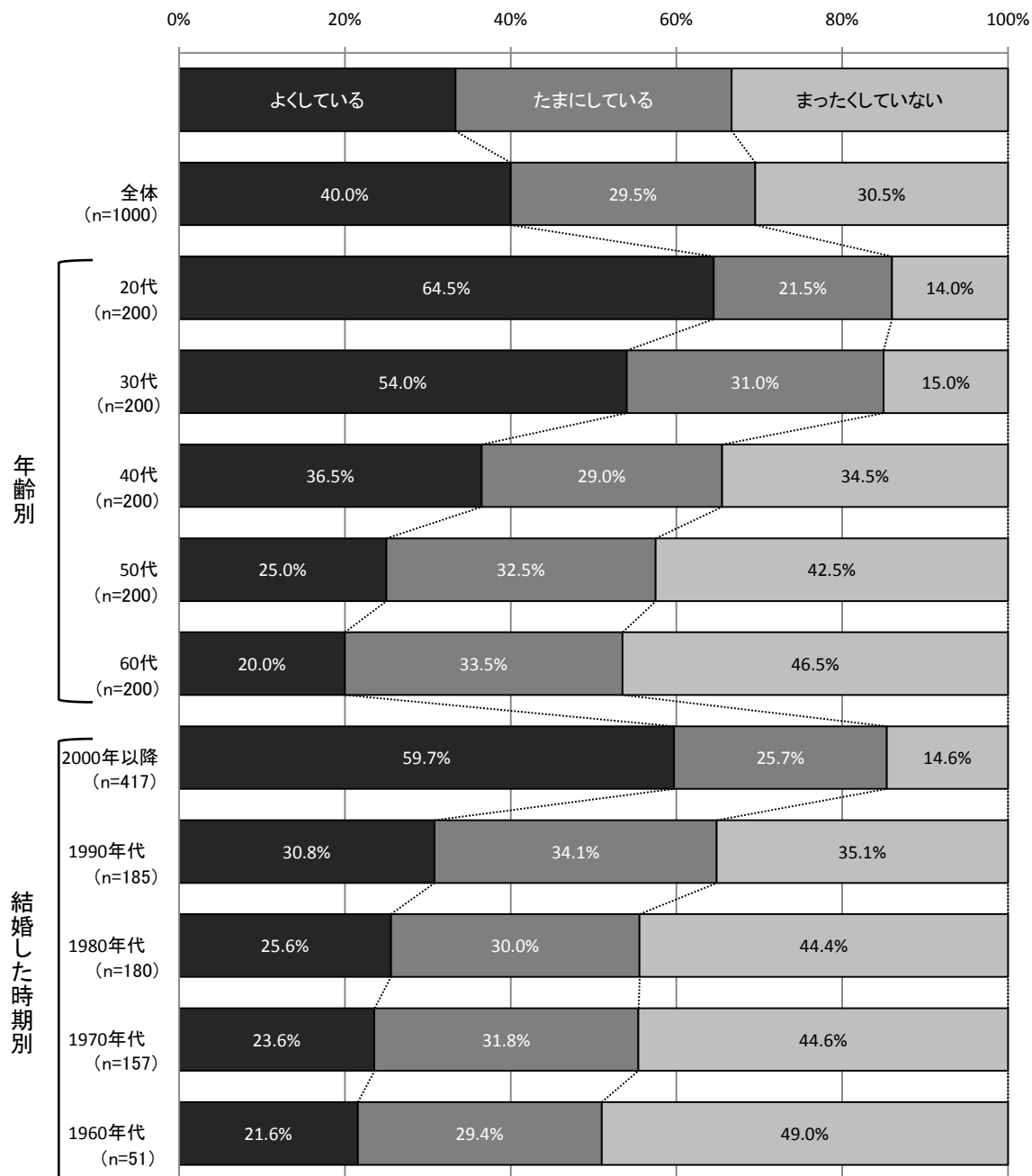
① 年齢別結婚記念日（結婚式をした既婚者／単一回答）



■調査名:「夫婦関係調査2011」より抜粋

【参考データ】

②結婚記念日を祝うか（既婚者／単一回答）



【調査概要】

【調査名】 夫婦関係調査2011

【調査方法】 インターネット調査

【調査期間】 2011年3月24日(木)～3月29日(火)

【調査対象】 首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)、東海(愛知・岐阜・三重)、関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山)在住で、「既婚者かつ本人初婚」および「離婚経験のある独身者かつ結婚経験1階」の20代～60代の男女。

【集計サンプル数】 計1200人

「既婚者かつ本人初婚」20代・30代・40代・50代・60代 各世代の男女各100人

「離婚経験のある独身者かつ結婚経験1回」20代・30代・40代・50代・60代 各世代の男女各20人

※本調査における「既婚者」「未婚者」「独身者」は、以下のように定義させていただきます。

「既婚者」＝現在配偶者のいる者(有配偶者)

「未婚者」＝結婚経験のない者

「独身者」＝結婚経験があるが、現在配偶者のいない者(無配偶者)